

山武郡市まちづくりアンケート調査まとめ

山武郡市広域行政組合では、山武地域についての生活意識や現在及び将来についての意見を伺い、基本構想及び基本計画策定の基礎資料とするため、平成2年6月に「山武郡市まちづくりアンケート調査」を実施しました。

調査結果の概要は次のとおりです。

調査対象者

山武地域に住んでいる満18歳以上の男女を無作為に三千人選出させていただきました。男女ほぼ同数で、年齢別では40歳代が27%、30歳代と50歳代がそれぞれ20%となっています。職業別では会社員30%、主婦20%、以下自営業、農林水産業の順となり、居住歴は10年以上が70%と多くなっています。

山武郡市広域行政組合の知名度

山武郡市広域行政組合を「知っていた」「聞いたことがある」を合わせ75%、前回、前々回調査の60%を大幅に上

アンケート調査回収結果

(単位：人・%)

市町村名	管内人口	抽出数	有効回答数	回収率
東金市	44,224	772	311	40.3
大網白里町	33,544	588	238	40.5
九十九里町	19,681	343	106	30.9
成東町	21,767	382	130	34.0
山武町	13,177	231	82	35.5
蓮沼村	4,738	75	19	25.3
松尾町	11,130	198	67	33.8
横芝山町	14,664	260	88	33.8
芝山町	8,461	151	63	41.7
合計	171,386	3,000	1,104	36.8

生活一般は

回りましたが新しく転入してきた人や若い年齢層にあまり知られていないようです。

これからの山武郡内に住み

たいという人は約70%で前回の調査とほぼ同じでした。しかし、山武郡市の将来を担う20歳代・30歳代での定住志向は低くなっています。

住みたい理由としては、「自然環境がよい」が圧倒的に多く、一方住みたくない理由として、「交通が不便」「買

いものなど日常生活に不便」

など、前回の調査と同じ結果となりました。

通学・通勤地・買物・医療・レクリエーションなど日常生活行動圏調査の結果で市町村

ごとの特性をみると、9市町村の中で東金市と横芝町は、生活行動が自市町内でおさまる割合が相対的に高く、九十九里町と成東町は東金市への、

また松尾町と蓮沼村は東金市、横芝町への依存傾向が強くな

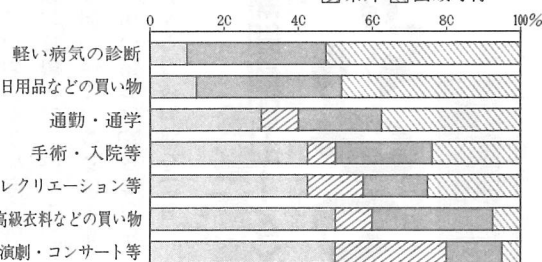
っています。芝山町と大網白里町及び山武町は交通の便の

関係から山武郡市外への依存傾向が高くなっています。

また、内容別にみると「高

日常生活行動圏の状況

■県内 ■東金市内
■県外 ■圏域町村



将来像は

将来の人口については、「今のままでよい」が55%、「多くなった方がよい」が44%となっています。

将来の土地利用と圏域の将来像では、「自然環境が保たれ生活と調和のとれた地域」が最も多く、次いで「保健医療・生活環境が整った健康的な地域」、「社会福祉が充実し、生きがいをもって安心して暮らせる地域」の順となっています。

優先的に行う行政施策は

「ごみ、し尿、下水道、公害対策など環境の整備」が最も多くなっており、次いで交通、保健医療の要望が強くなっています。

優先的に行う施策順位 (3つ選択)

生活環境の整備	760人
交通・通信体系の整備	571人
保健・医療の充実	562人
社会福祉の充実	313人
教育・文化の充実	312人
スポーツ・レクリエーションの振興	224人
産業の振興・就業機会の拡大	212人
防災体制の確立	119人